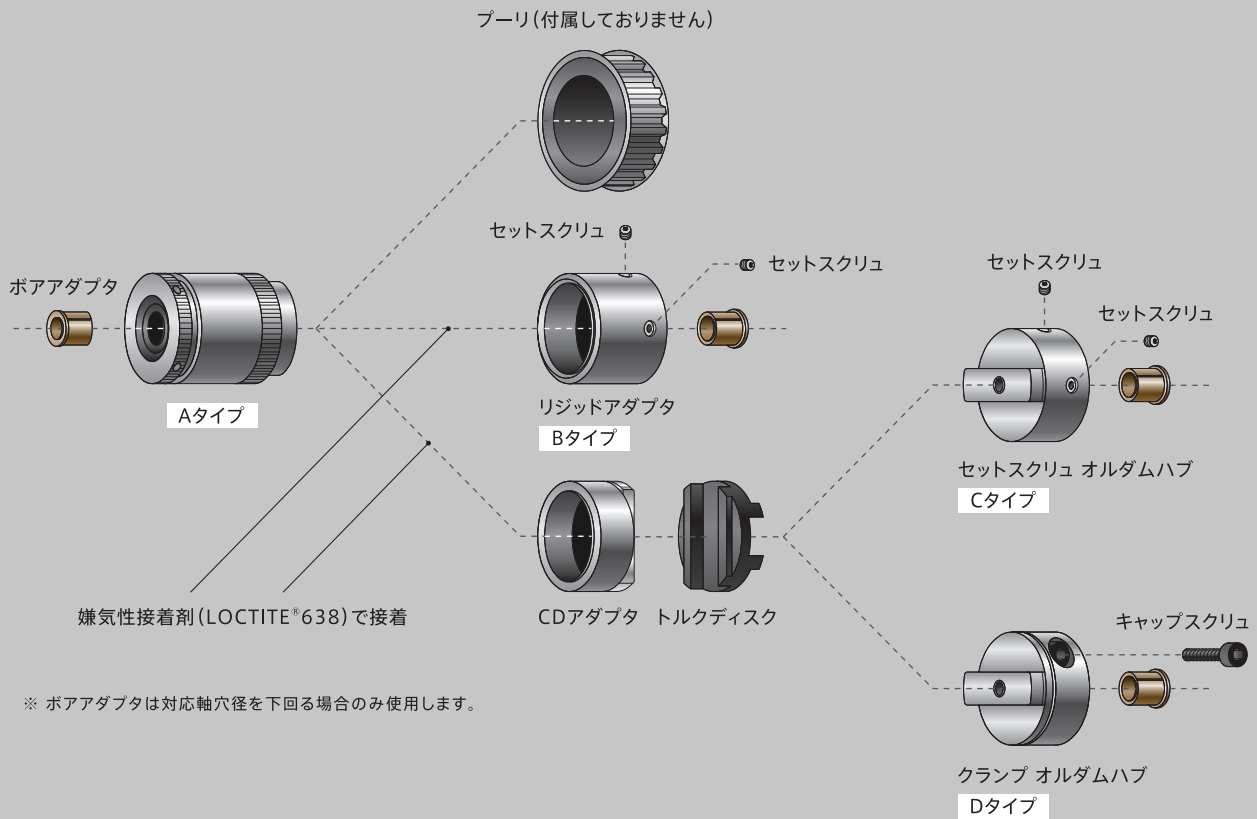


MSC 技術資料

タイプ別構造 ※ MSC-2-Aの例



※ ボアアダプタは対応軸穴径を下回る場合のみ使用します。

ボアアダプタについて

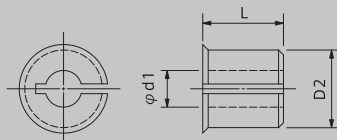
MSCシリーズの対応軸穴径を下回る軸穴径をご希望の場合、ボアアダプタをご使用いただくことで対応可能です。

発注方法

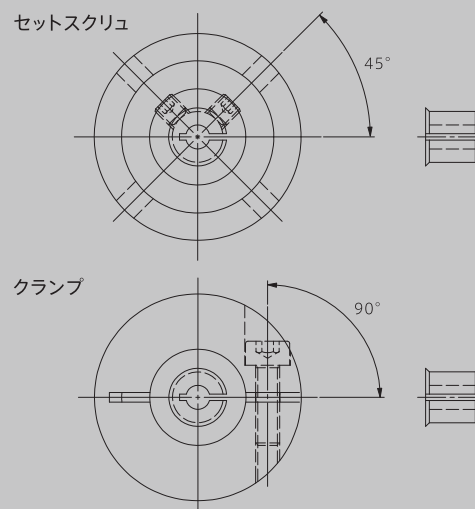
MSC-2-B-5AD×3AD (d1=φ5、d2=φ3)

MSC-6-D-8×3AD (d1=φ8、d2=φ3)

d1		D2	L
[mm]	[in]		
2.00	1/8 3/16	1/4 [in] (6.35 [mm])	8.6 [mm]
3.00			
4.00			
5.00			

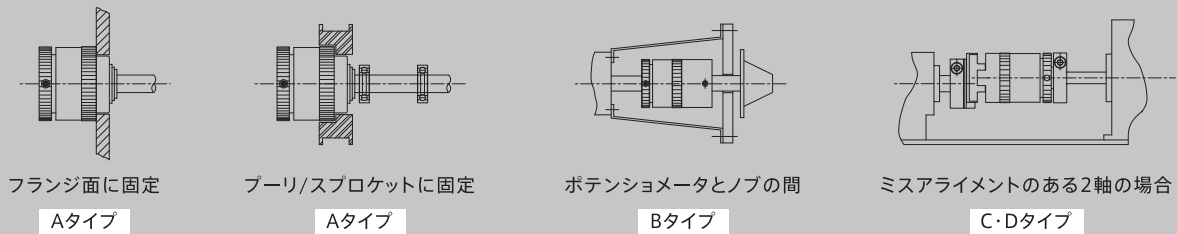


アダプタの取り付け位置



ご使用にあたり

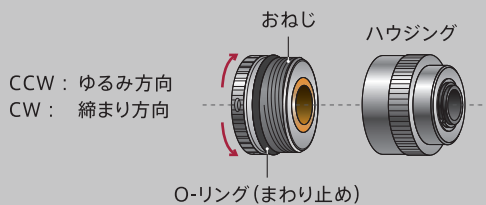
- 出荷時にすべりトルクの設定はいたしません。お客様にて設定してください。
- A、Bタイプはミスアライメントを許容しません。
ミスアライメントが発生する場合はC、Dタイプをご選択ください。
- すべりトルクを安定させるために、アジャスタキャップをご希望の設定すべりトルク以下に調整いただき、3,000回転程度のならし運転を行ってください。その後、すべりトルクを設定してください。
- Aタイプは嫌気性接着剤 (LOCTITE® 638を推奨) により、プーリやスプロケットなどを取り付けてご使用ください。
MSC-2/6の推奨穴径は $\phi 22.00^{+0.05}_0$ 、MSC-48の推奨穴径は $\phi 37.05^{+0.05}_0$ です。



設定方法

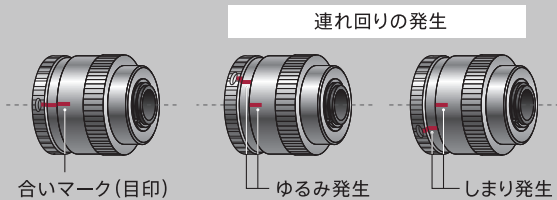
すべりトルクの設定方法

アジャスタキャップの締め込みによってすべりトルクを設定します。締め込み量が大きい程、摩擦力が大きくなるためすべりトルクは高くなります。設定後は合いマーク (目印) を付けて管理してください。



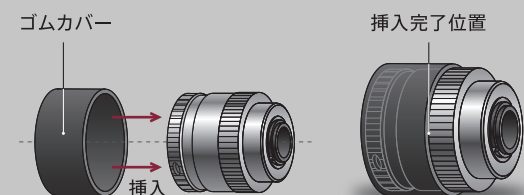
「連れ回り」*の確認方法

連れ回りの発生有無は下記方法で確認することができます。軸を取り付けすべりトルク設定後アジャスタキャップとハウジングに合いマークをつけて稼働します。一定時間稼働後、合いマークがずれていれば連れ回りが発生しています。



「連れ回り」*の防止方法 (MSC-2/6)

連れ回りはゴムカバーを装着することで防ぐことができます。ゴムカバーは標準では付属しておりませんが、発注時に指示いただくことで無償で提供いたします。MSC-48にはゴムカバーのご用意がありません。



* MSCが取り付けられた被動機、駆動機の慣性モーメントが大きい場合、頻繁な正転逆転が繰り返される場合、急速起動または停止が起きる場合、アジャスタキャップの位置がずれることがあります。これを「連れ回り」と呼び、連れ回りが発生すると設定すべりトルクが変化します。